

社会資本総合整備計画書(第1回変更)
(愛知県田原市)

平成28年9月

(参考様式2) 社会資本総合整備計画

平成28年 9月 1日

計画の名称	田原らしさを感じられる歩いて楽しいまちづくり										重点配分対象の該当	○					
計画の期間	平成28年度 ~ 平成32年度 (5年間)					交付対象	愛知県田原市										
計画の目標	<p>田原中部市街地地区は、江戸時代は城下町、明治から昭和にかけては商工業・海運の発展に伴い、渥美半島の政治・経済の中心として賑わっていたが、現在では定住人口の減少や少子・高齢化及び商業機能の衰退が著しく進展している。そのため、中心市街地の核となる商業施設の整備や、まちなかへの回遊促進に取り組むことにより、賑わいの創出を図っていく。</p> <p>また、本市最大の魅力である花・緑などの豊かな自然と、地域固有の伝統文化・歴史などの地域資源を活かした、「田原らしさ」を感じることができるとともに、まちの「賑わい」を生み出されることから、目標として「まちなかを歩く人を増やす」を掲げ、歩行者通行量を、1,769人/日から2,100人/日に増加させる。</p> <p>・居住環境のさらなる向上を図ることにより、現在居住している人が不安なく住み続けるとともに、ビジネスや観光などで訪れた人が居住地としての魅力を感じ、転入者の増加につながるから、目標として「まちなかに住む人を増やす」を掲げ居住人口を2,941人から3,040人に増加させる。</p>																
計画の成果目標 (定量的指標)	<p>・居住者が増加し、買物や文化活動、ビジネスや余暇などで訪れる人が増えるとともに、これらの人が歩いたり回遊したりすることにより、まちの「賑わい」が生み出されることから、目標として「まちなかを歩く人を増やす」を掲げ、歩行者通行量を、1,769人/日から2,100人/日に増加させる。</p> <p>・居住環境のさらなる向上を図ることにより、現在居住している人が不安なく住み続けるとともに、ビジネスや観光などで訪れた人が居住地としての魅力を感じ、転入者の増加につながるから、目標として「まちなかに住む人を増やす」を掲げ居住人口を2,941人から3,040人に増加させる。</p>																
定量的指標の定義及び算定式											定量的指標の現況値及び目標値		備考				
											当初現況値 (H28当初)	中間目標値 (H30末)	最終目標値 (H32末)				
	まちなかの歩く人を増やす [歩行者通行量の増加] 調査地点：三河田原駅前 (市道田原駅前通り線)、はなとき通り、田原城跡附近 調査方法：調査断面を両方向に通過する歩行者+自転車通行量 (人数) を目測調査 調査期間：平日及び休日の9時から20時 (11時間)										1,769人/日	1,934人/日	2,100人				
	まちなかに住む人を増やす [居住人口の増加] 調査範囲：中心市街地活性化基本計画の区域 調査数値：国勢調査による人口										2,941人	2,990人	3,040人				
全体事業費	合計 (A+B+C+D)	680百万円	A	680百万円	B	0百万円	C	0百万円	D	0百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0.0%					
交付対象事業																	
A 基幹事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	費用便益比	個別施設計画 策定状況	備考
1-A-1	都市再生整備計画	一般	田原市	直接	田原市	田原中部市街地地区	道路、地域生活基盤施設、高質空間等 A=88.0ha	田原市	H28	H29	H30	H31	H32	680			
合計													680				
B 関連社会資本整備事業 (該当なし)																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	費用便益比	個別施設計画 策定状況	備考
									H28	H29	H30	H31	H32				
合計																	
C 効果促進事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考		
									H28	H29	H30	H31	H32				
合計																	
D 社会資本整備円滑化地籍整備事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (面積等)	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考		
									H28	H29	H30	H31	H32				
合計																	
番号	一体的に実施することにより期待される効果											備考					

交付金の執行状況

(単位:百万円)

	H28	H29	H30	H31	H32
配分額 (a)	13.8				
計画別流用 増△減額 (b)	3.0				
交付額 (c=a+b)	16.8				
前年度からの繰越額 (d)	0.0				
支払済額 (e)	16.8				
翌年度繰越額 (f)	0.0				
うち未契約繰越額 (g)	0.0				
不用額 (h = c+d-e-f)	0.0				
未契約繰越+不用率 (h = (g+h)/(c+d))	0.0%				
未契約繰越+不用率が10%を超えている 場合その理由	-				

(参考図面) 市街地整備

計画の名称	田原らしさを感じられる歩いて楽しいまちづくり		
計画の期間	平成28年度～平成32年度	交付対象	田原市

東三河都市計画区域田原市都市計画図

基幹事業
1-A-1 田原中部市街地地区都市再生整備計画事業

● 拡大図

田原市役所
三河田原駅
豊橋鉄道 澄美線

基幹事業
1-A-1 田原中部市街地地区都市再生整備計画事業

2.2.601 新清谷公園
2.2.603 沙見公園
6.5.5 中央公園
2.2.607 赤石1号公園
2.2.608 赤石2号公園
2.2.605 赤石4号公園
2.2.602 神戸第一公園
第15号 新大塚緑地
田原駅前広場
田原駅南線
2車線(12)

社会資本整備総合交付金チェックシート

(汎用タイプ)

計画の名称: 田原らしさを感じられる歩いて楽しいまちづくり 事業主体名: 田原市

チェック欄

I. 目標の妥当性	
①上位計画等との整合性	○
②地域の課題への対応(地域の課題と整備計画の目標の整合性)	○
II. 計画の効果・効率性	
①整備計画の目標と定量的指標の整合性	○
②定量的指標の明瞭性	○
③目標と事業内容の整合性	○
④事業の効果(要素事業の相乗効果等)の見込みの妥当性	○
III. 計画の実現可能性	
①円滑な事業執行の環境(事業熟度、住民等の合意形成等を踏まえた事業実施の確実性)	○
②地元の機運(住民、民間等の活動・関連事業との連携等による事業効果発現の確実性)	○